題材系統表

題材は，五つの分野で構成され，活動のねらい，発想のきっかけ，使用する材料や用具などを考慮し，発達の段階とともに学びを深めることができるよう，系統的に配列されています。

				1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下
A表現	造形遊びをする	材料や場所を基にして活動する	材料を基にして	・カラフル いろみず（p.28-29） ・いっぱい つかって なに しよう（p.38-39）	・ひかりの プレゼント（p.10-11） ・しんぶんしと なかよし（p.18-19） ・だんボールに 入って みると！？（p.44-45）	・ぬのをつないで（p.12-13） ・ひもひもワールド（p.52-53）	・光とかげから生まれる形（p.38-39）		
			場所・環境を生かして			・「小さな自分」のお気に入り（p.30-31）	・ここにいたい（p.10-11） ・まどをのぞいて（p.46-47）	・あんなところがこんなところに見えてきた（p.10-11） ・光と場所のハーモニー（p.44-45）	・ここから見ると（p.12-13） ・自然を感じるすてきな場所で（p.22-23） ・思い出のあの場所に（p.44-45）
		体全体を働かせながら活動する		・すなや つちと なかよし（p.14-15） ・べったん コロコロ（p.24-25） ・ならべて ならべて（p.48-49）	・つないで つるして（p.32-33）	・クミクミックス（p.40-41）	・ここをつつんだら（p.20-21） ・つなぐんぐん（p.24-25）		
	絵に表す	材料や用具に触れながら思い付いたことを表す		・かきたい もの なあに（p.10-11） ・やぶいた かたちから うまれたよ（p.16-17） ・いろいろな かたちの かみから（p.30-31）	・とろとろえのぐで かく（p.22-23） ・はさみの あーと（p.36-37） ・ざいりょうから ひらめき（p.46-47）	・絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ！（p.8-9） ・ペタパタひらくと（p.28-29） ・土でかく（p.48-49）	・絵の具でゆめもよう（p.8-9） ・光のさしこむ絵（p.32-33） ・これでえがくと（p.40-41）	・でこぼこの絵（p.32-33） ・消してかく（p.40-41）	・墨と水から広がる世界（p.10-11） ・感じて 考えて（p.30-31）
		感じたこと，想像したこと，見たことから表す	日常生活でかきためたことから表す		・おはなみ スケッチ（p.8-9）	・わたしの６月の絵（p.18-19）		・絵の具スケッチ（p.8-9）	
			生活経験から表す	・みて みて あのね（p.20-21）	・たのしかったよ ドキドキしたよ（p.26-27）	・あの日あの時の気もち（p.24-25）	・わすれられない気持ち（p.26-27）	・心に残ったあの時 あの場所（p.22-23）	・わたしの大切な風景（p.24-25）
			想像したことから表す	・のって みたいな いきたいな（p.46-47）	・ふしぎな たまご（p.16-17）	・ひらいて広がるふしぎなせかい（p.36-37）	・まぼろしの花（p.16-17）	・心のもよう（p.14-15） ・まだ見ぬ世界（p.26-27）	・音のする絵（p.20-21）
			物語などから感じたこと，想像したことから表す	・おはなしから うまれたよ（p.34-35）	・ことばの かたち（p.40-41）	・ことばから形・色（p.42-43）	・言葉から形・色（p.44-45）	・言葉から思いを広げて（p.46-47）	・言葉から想像を広げて（p.42-43）
		版に表す		・うつした かたちから（p.58-59）	・たのしく うつして（p.52-53）	・いろいろうつして（p.54-55）	・ほってすって見つけて（p.54-55）	・ほり進めて刷り重ねて（p.50-51）	・版で広がるわたしの思い（p.50-51）
	立体に表す	材料や用具に触れながら思い付いたことを表す	粘土で	・ひもひも ねんど（p.18-19）	・にぎにぎ ねん土（p.12-13）	・切ってかき出しくっつけて（p.16-17）	・立ち上がれ！ ねん土（p.14-15）	・わたしのいい形（p.48-49）	・固まった形から（p.28-29）
			様々な材料で	・はこで つくったよ（p.44-45）	・くしゃくしゃ ぎゅっ（p.20-21）	・カラフルフレンド（p.10-11） ・くぎうちトントン（p.32-33）	・ひみつのすみか（p.36-37）	・糸のこスイスイ（p.20-21） ・立ち上がれ！ ワイヤーアート（p.30-31）	・光の形（p.14-15）
		感じたこと，想像したこと，見たことから表す	粘土で	・ごちそう パーティー はじめよう！（p.26-27） ・いっしょに おさんぽ（p.54-55）	・おもいでを かたちに（p.38-39）	・ねん土マイタウン（p.46-47）	・元気のおまもり（p.30-31）	・のぞいてみると（p.12-13）	・水の流れのように（p.40-41）
			様々な材料で		・ともだち ハウス（p.50-51）	・クリスタルアニマル（p.26-27）	・ようこそ！ ゆめのまちへ（p.48-49）	・ミラクル！ ミラーステージ（p.38-39）	・未来のわたし（p.48-49）
	工作に表す	飾るもの・使えるものをつくる		・ちょきちょき かざり（p.12-13） ・ひらひら ゆれて（p.32-33） ・かざって なに いれよう（p.40-41）	・わっかで へんしん（p.14-15）	・空きようきのへんしん（p.38-39）	・ギコギコ トントン クリエイター（p.18-19） ・おもしろだんボールボックス（p.28-29）	・使って楽しい焼き物（p.24-25）	・おもしろ筆（p.8-9） ・すてきな明かり（p.26-27） ・１まいの板から（p.32-33）
		遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる		・おって たてたら（p.22-23） ・かみざら コロコロ（p.50-51） ・にょきにょき とびだせ（p.56-57）	・まどから こんにちは（p.24-25） ・音づくり フレンズ（p.30-31） ・わくわく おはなしゲーム（p.42-43） ・パタパタ ストロー（p.48-49）	・くるくるランド（p.14-15） ・ふき上がる風にのせて（p.20-21） ・ゴムゴムパワー（p.44-45） ・マグネットマジック（p.50-51）	・コロコロガーレ（p.12-13） ・ゴー！ ゴー！ ドリームカー（p.50-51）	・形が動く 絵が動く（p.18-19） ・わくわくプレイランド（p.42-43）	・くるくるクランク（p.16-17）
		伝え合うものをつくる					・カードでつたえる気持ち（p.42-43）	・伝え合いたい思い（p.52-53）	・ドリーム・プロジェクト（p.46-47）
B鑑賞	鑑賞する	身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る		・でこぼこ はっけん！（p.42-43） ・すきまちゃんの すきな すきま（p.52-53）	・いろの 見えかた むげん大（p.28-29） ・ともだち 見つけた！（p.54-55）	・み近なしぜんの形・色（p.22-23）	・色合いひびき合い（p.22-23）	・水から発見 ここきれい！（p.28-29）	
		自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る					・ポーズのひみつ（p.52-53）	・カードを使って（p.16-17）	・この筆あと，どんな空？（p.18-19） ・わたしの感じる和（p.38-39）

題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。

分野	造形遊びをする，絵に表す，立体に表す，工作に表す，鑑賞する，のいずれかで示しています。
系統	分野の中で，さらに細かく系統を示しています。系統に関しては本書p.２-３をご参照いただき，６年間の学びを見通す際などにご参考ください。
ページ	教科書の掲載ページを示しています。
配当時間	題材を実施するにあたっての参考時数を示しています（１時間＝45分）。この枠に収めなければいけないということではありません。各学校や児童の実態に合わせてご検討ください。
題材名	教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは，展開例ごとに示しています。 例）１・２上　かきたい もの なあに 　　～すきな もの いっぱい～　～おひさま にこにこ～
題材の目標	各題材の目標を，学習指導要領で示されている各学年の目標を踏まえた一文で示しています。 ※各題材での目標を，各学年の目標（１）（２）（３）それぞれに対応する三文で設定することも考えられます。
育てたい子どもの姿	「学びに向かう力，人間性等」の個人内評価とする部分や，日本文教出版株式会社が図画工作の学習で大切にしたいこと（「感じる・ためす・つくりだす」）などを踏まえ，題材を通して育てたい子どもの姿を示しています。 ※「感じる・ためす・つくりだす」については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な学習内容	児童の活動を中心として，授業の流れを示しています。
評価規準の例	各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（Ｂ）について記載しています。 ・表現の題材においては，鑑賞する学習活動との関連を示すために「思考・判断・表現」のＢ鑑賞に関する評価規準も設定しています。関連して指導する場合にご参考ください。 ・鑑賞する題材では，独立して行うことを前提としているため「知識・技能」における「技能」に関する評価規準，「思考・判断・表現」におけるＡ表現に関する評価規準は設定していません。ただし一部の題材については上記の観点についても示しています。 ・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具，中学年以降においては児童の経験を踏まえて，設定してください。 例）５・６上「糸のこスイスイ」 　　表現方法に応じて電動糸のこぎりや紙やすりを活用するとともに，板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 ※評価の考え方については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な材料・用具	授業で必要な材料や用具を，教師，児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて，教師，児童いずれが準備するのかご検討ください。 ここで示していないものであっても，活動をより広げるために用意しておくとよい材料や用具に関しては，教師用指導書「朱書編」でご確認ください。 ※材料・用具の取扱いについては，教師用指導書「材料・用具編」もあわせてご参考ください。
関連	幼児期／中学校といった校種間の関連，他教科等との関連，他の題材との関連などを示しています。 関連は一例であり，他にも多様な関連が考えられますが，校種間接続や，カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。

題材別カリキュラム

p.8-9　**絵の具でゆめもよう**　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　2～6

目標　水彩絵の具でいろいろな表し方を試しながら模様の紙をつくり，形や色などの感じを捉えながら，模様を生かして，表し方を工夫しながら絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
試しながら表すことを楽しみ，多様な表現の方法や面白さを感じ取る子ども。	○用具を使うことでいろいろな表し方ができることを知る。 ○試したり，技法を組み合わせたりしながら，いろいろな模様の紙をつくる。 ○模様を生かしながら，切ったり貼ったりして絵に表す。 ○友人とお互いの作品を見合いながら，模様の使い方や作品のよさや面白さを味わう。	教師：画用紙，ボール紙，段ボール，片面波段ボール，マーブリングセット，ローラー，ビー玉，トレイ，金網，歯ブラシ など 児童：水彩用具一式，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
水彩絵の具を使っていろいろな表し方を試して模様の紙をつくったり，それらを使って表したりするときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。	歯ブラシや網，ストローなどを適切に扱うとともに，水彩絵の具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，水彩絵の具で試して感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで水彩絵の具で，いろいろな表し方を試して，模様の紙をつくって表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：様々な用具を活用した表現は，今後の絵に表す活動だけでなく，水彩絵の具を使用する様々な表現に広がりをもたらす。

p.10-11　**ここにいたい**　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして　2～4

目標　学校の中の気に入った場所を探し，形や色などの感じを捉えながら，場所の感じを生かして活動を工夫してより心地よい場所につくりかえる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
身近な場所にお気に入りの場所を見付け，協力しながらより心地よい場所に変え，その楽しさに浸る子ども。	○自分たちがよいと思う場所を探す。 ○場所にあるものや感じを生かしながら，より心地よい場所につくりかえる。 ○つくりかえた場所をお互いに訪問し合いながら，よさや面白さを味わう。 ○余裕があれば，異学年の子どもたちも招待する。	教師・児童：段ボール など 教師：段ボールカッター，クラフトテープ，養生テープ など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
気に入った場所の感じを基に場所をつくりかえるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	場所にある材料，段ボールなどを適切に扱うとともに，段ボールカッター，はさみなどについての経験を生かし，組み合わせたり，切ってつないだり，形を変えるなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な場所やそこにあるものなどを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ，つくりたいこと，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで自分の気に入った場所の感じを基に，ずっといたくなる場所につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：５・６下p.44-45「思い出のあの場所に」との関連が深い。場所に対する思いや思い出は，少しずつ醸成される。

p.12-13　**コロコロガーレ**　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる

～コロコロワールド～　6～8

目標　ビー玉を転がしながら，表したいことを見付け，形や色などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して，楽しいコースをつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分の意思と見通しをもって材料に働きかけ，楽しいことを実現しようとする子ども。	○つくった簡単なコースや，段ボール箱の中でビー玉を転がしながら，表したいことを考える。 ○形や色の組合せを考えながらコースをつくる。 ○より楽しくなるようにコースの周りの飾りも考えてつくる。 ○友人と遊びながら，お互いの作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：ビー玉，身辺材 など 教師：色画用紙，工作用紙，片面波段ボール，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：はさみ，のり，水彩用具一式，ペン など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
ビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボールや紙材などを適切に扱うとともに，カッターナイフなどの切る用具，水彩絵の具，接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，ビー玉を転がして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，表したいことを考え，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んでビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：紙を折ってコースをつくるには，これまでの紙を折る，立てるという低学年で学んだことを生かすことが重要である。

～みんなでコロコロコースター～　6～8

目標　ビー玉を転がしながら，表したいことを見付け，形や色などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して，楽しいコースをつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分の意思と見通しをもって材料に働きかけ，楽しいことを実現しようとする子ども。	○どのようなコースにするか話し合う。 ○土台になる段ボールに色を塗る。 ○転がり方や，土台の段ボールやコースの組合せを考えながらつくる。 ○みんなで遊びながら，作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：ビー玉，段ボール など 教師：カッターナイフ，カッターマット，段ボールカッター，共用の絵の具，木工用接着剤，両面テープ など 児童：はさみ，のり，水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
ビー玉を転がして楽しく遊ぶものを共同でつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボールや紙材などを適切に扱うとともに，段ボールカッターなどの切る用具，水彩絵の具，接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，ビー玉を転がして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，表したいことを考え，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んでビー玉を転がして楽しく遊ぶものを共同でつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　学校行事等：校内展覧会での展示として，活動の様子などとともに展示し来場者にも遊んで楽しんでもらうことも考えられる。

p.14-15　立ち上がれ！ねん土　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で　2～4

目標　板状やひも状にした粘土を立ち上げることから表したいことを見付け，形などの感じを捉えながら，手や用具を工夫して使い立体に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
材料に働きかけ，試行錯誤しながら自らの意思で形を立ち上げたことに自信をもつ子ども。	○用具を使って，粘土を大きく立ち上げることに興味をもつ。 ○板状やひも状にした粘土の形を変えたり組み合わせたりして粘土を立たせる。 ○立った粘土の形から思い付いたものを，手と用具の使い方を工夫して表す。 ○友人とお互いの作品を見合いながら，よさや面白さを感じ取る。	教師・児童：粘土板，新聞紙，雑巾 など 教師：土粘土，かきべら，切り糸，のし棒，霧吹き など 児童：粘土べら など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
板状やひも状にした粘土の形を生かして，大きく立ち上がる形を表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	粘土，のし棒を適切に扱うとともに，切り糸，かきべら，粘土べらなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，粘土を立ち上げながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで板状やひも状にした粘土の形を生かして，大きく立ち上がる形を表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：立体に表す題材だけでなく５・６上p.24-25「使って楽しい焼き物」との関連も深い。様々な用具の体験が，表現をより深めることにつながる。

p.16-17　まぼろしの花　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／想像したことから表す　3～4

目標　誰も見たことも聞いたこともないまぼろしの花を，形や色の感じを捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
少しずつ自分の中に広がっていく思いや想像を大切にする子ども。	○「まぼろしの花」という言葉から，自分なりの想像を広げる。 ○球根や種をつくったり，画用紙に色を塗り込んだりしながら，自分の中のまぼろしの花の世界を育てていく。 ○想像したことを基に，材料や用具の使い方を工夫して使い，まぼろしの花の世界を表す。 ○友人と作品を紹介し合いながら，よさや面白さを味わう。	教師：画用紙・色画用紙・黄ボール紙・段ボール，紙粘土，コンテ・パステル，ローラー など 児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，ペン など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
まぼろしの花の世界を表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに，ローラーなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，まぼろしの花の世界を想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んでまぼろしの花の世界を想像して表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　外国語活動：表現したことや工夫したことなどをショー・アンド・テルの中で伝え合うことなどが考えられる。

p.18-19　ギコギコ トントン クリエイター　飾るもの・使えるものをつくる　4～6

目標　のこぎりを安全に使い，切ってできた様々な形の木をつないでできる形などを基に，生活で楽しく使えるものを考え，形や色などの感じを捉えながら，材料の組合せ方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
材料と向き合い，用具を安全に扱って，実用性と耐久性のある作品をつくることに喜びを感じ，生活を豊かにしようとする子ども。	○のこぎりの安全な使い方を知る。 ○板材や角材を切って，いろいろな形をつくる。 ○切った木を組み合わせながら，表したいことを考える。 ○材料を組み合わせたり色を塗ったりしてつくる。 ○できたものを飾ったり使ったりしてよさを味わう。	教師：板材，角材，のこぎり，釘，金づち，きり，クランプ，万力，共用の絵の具，木工用接着剤 など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
のこぎりでいろいろな形を切った木を組み合わせて，生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	のこぎり，釘，金づち，きり，木材を適切に扱うとともに，水彩絵の具，接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，切った木を組み合わせて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，用途を考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んでのこぎりでいろいろな形に切った木を組み合わせて，生活で使えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：のこぎりを初めて扱う題材であり，木材を扱う様々な題材に関連する。また中学校技術との関連も深い。

p.20-21　ここをつつんだら　体全体を働かせながら活動する

～遊具を～　2～4

目標　いつも使っている遊具を透明なシートで包み，形や色などの感じを捉えながら，活動を工夫して包んだ場所やものの様子が変わることを楽しむ。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自らの工夫で身の回りの環境を変えることができることに興味をもち，変化するよさや面白さを感じ取る子ども。	○普段使っている遊具を見て，透明なシートでどこをどのように包むのか考える。 ○友人と協力し，包み方を工夫して透明なシートで場所やものを包む。 ○包んだ場所を外から見たり中に入ったりして，変化した様子のよさや面白さを味わう。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：養生シート，養生テープ など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
身近な遊具を透明シートで包んだり，包んでできた空間に入ったりするときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	透明シートを適切に扱うとともに，はさみ，セロハンテープなどについての経験を生かし，身近な遊具を包むなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，透明シート，身近な遊具や包んでできる形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，包んでできた遊具の様子などの造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方について，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで身近な遊具を透明シートで包みながら，新しい形をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：本題材での経験が高学年での造形遊びにおいて，周囲の様子を考え合わせることにつながる。包んだ場所やものを離れた場所から見るといった活動を積極的に行うとよい。

～教室にあるものを～　2～4

目標　いつも使っている教室にあるものを透明なシートで包み，形や色などの感じを捉えながら，活動を工夫して包んだ場所やものの様子が変わることを楽しむ。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自らの工夫で身の回りの環境を変えることができることに興味をもち，変化するよさや面白さを感じ取る子ども。	○普段使っている教室にあるものを見て，透明なシートでどこをどのように包むのか考える。 ○友人と協力し，包み方を工夫して透明なシートで場所やものを包む。 ○包んだ場所を外から見たり中に入ったりして，変化した様子のよさや面白さを味わう。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：養生シート，養生テープ など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
身近な物や場所を包んだり，包んでできた場所に入ったりするときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	養生シートを適切に扱うとともに，はさみやセロハンテープなどについての経験を生かし，身近なものや場所を組み合わせて包むなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，透明シート，身近なものや場所，それらを包んでできる形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，包んでできた場所の様子などの造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方について，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで身近なものや場所を包みながら，新しい形を見付ける学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：本題材での経験が高学年での造形遊びにおいて，周囲の様子を考え合わせることにつながる。包んだ場所やものを離れた場所から見るといった活動を積極的に行うとよい。

p.22-23　色合いひびき合い　身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る　1～2

目標　指で絵の具を混ぜて変化する色や形などの感じを捉えながら，造形的なよさや面白さを味わう。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
何度も試して変化の違いを感じ取りながら，そのそれぞれのよさを大切にしようとする子ども。	○小さな紙に絵の具を取って，混ぜる。 ○混ざっていく色や形の変化を味わう。 ○絵の具や水の量，いろいろな混ぜ方を試し，その違いを感じ取る。 ○みんなで色を混ぜた紙を並べて，その違いやよさや面白さを話し合う。	教師：画用紙 など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して，色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。			色の感じ，形の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで指で絵の具を混ぜながら，色や形の組合せや，変わっていく様子の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連　外国語活動：自分がどのような混ざり方をよいと感じたのかをショー・アンド・テルの中で伝え合うことが考えられる。

p.24-25　つなぐんぐん　体全体を働かせながら活動する

～木のえだで～　2～4

目標　木の枝をつなぎながら造形的な活動を思い付き，形などの感じを捉えながら，つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
細い材料でも，工夫次第で大きな形や複雑な形をつくることができることに喜びを感じ，新しい意味や価値をつくりだすことのできる子ども。	○グループごとに木の枝をつないでどのようなことができそうか考える。 ○木の枝を縛ったり固定したりしながら，形をつくり，つくりかえる。 ○自分たちの活動を紹介し合い，お互いの活動のよさや面白さを話し合う。	教師・児童：軍手 など 教師：木の枝，麻ひも など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
木の枝をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	木の枝を適切に扱うとともに，ひもなどについての経験を生かし，枝をつないだり組み合わせたりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，枝や枝を組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，木の枝をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所の造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで木の枝をつなぎながら，思い付いたことを工夫してつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：５・６上p.30-31「立ち上がれ！ワイヤーアート」での，線材を構成して立体に表す活動との関連が深い。構造を考えることは長期的には物理等の分野とも関連する。

～丸めた紙で～　2～4

目標　細く丸めた新聞紙をつなぎながら造形的な活動を思い付き，形などの感じを捉えながら，つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
細い材料でも，工夫次第で大きな形や複雑な形をつくることができることに喜びを感じ，新しい意味や価値をつくりだすことのできる子ども。	○グループごとに新聞紙の棒をつないでどのようなことができそうか考える。 ○新聞紙の棒をテープでつないだり固定したりしながら，形をつくり，つくりかえる。 ○自分たちの活動を紹介し合い，お互いの活動のよさや面白さを話し合う。	教師・児童：新聞紙，セロハンテープ など 教師：メンディングテープ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
細く丸めた新聞紙をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	新聞紙を適切に扱うとともに，セロハンテープなどについての経験を生かし，細く丸めた新聞紙をつないだり組み合わせたりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，細く丸めた新聞紙やそれを組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，細く丸めた新聞紙をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所の造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで細く丸めた新聞紙をつなぎながら，思い付いたことを工夫してつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：５・６上p.30-31「立ち上がれ！ワイヤーアート」での，線材を構成して立体に表す活動との関連が深い。構造を考えることは長期的には物理等の分野とも関連する。

～わりばしで～　2～4

目標　割り箸をつなぎながら造形的な活動を思い付き，形などの感じを捉えながら，つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
細い材料でも，工夫次第で大きな形や複雑な形をつくることができることに喜びを感じ，新しい意味や価値をつくりだすことのできる子ども。	○割り箸をつないでどのようなことができそうか考える。 ○割り箸を輪ゴムで固定するなどしながら，形をつくり，つくりかえる。 ○自分たちの活動を紹介し合い，お互いの活動のよさや面白さを話し合う。	教師・児童：割り箸 など 教師：輪ゴム，モール，ビニルタイ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
割り箸をつなぎながら思い付いたことをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	割り箸を適切に扱うとともに，輪ゴムやモールなどについての経験を生かし，割り箸をつないだり組み合わせたりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，割り箸やそれを組み合わせてできる形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，割り箸をつないだり組み合わせたりしてできた形や場所の造形的なよさや面白さ，造形的な活動，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで割り箸をつなぎながら，思い付いたことを工夫してつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：５・６上p.30-31「立ち上がれ！ワイヤーアート」での，線材を構成して立体に表す活動との関連が深い。構造を考えることは長期的には物理等の分野とも関連する。

p.26-27　わすれられない気持ち　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／生活経験から表す　6～8

目標　生活の中で心に残っていることから表したい様子を思い浮かべ，そのときに感じた気持ちに合う形や色を見付けながら，表し方を工夫して絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
形や色を工夫することで，感じた気持ちに合う表し方ができることを知り，より深く生活を見つめ，心に残っていることを大切にしようとする子ども。	○自分の心に残っていることから，表したいことを考える。 ○そのときの気持ちが表れるように，材料や用具の使い方を工夫しながら表す。 ○友人と作品を見せ合いながら，表したかったことやそのときの気持ちについて伝え合う。	教師：画用紙・色画用紙，コンテ・パステル など 児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，ペン，色鉛筆 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
毎日の生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに，クレヨン・パス，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，生活の中で感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで毎日の生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを，形や色の感じを生かして絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：Ｃ「国際理解・国際親善」との関連が深い。紙面にある「外国の友だちの絵」を活用したい。

p.28-29　おもしろだんボールボックス　飾るもの・使えるものをつくる　4～6

目標　段ボールの形や特徴を生かして，生活で使える入れ物を考え，形や色などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分の発想や考えを基につくったものを生活の中で活用することで，生活を豊かに楽しくできることに喜びを感じる子ども。	○段ボールの形や特徴を生かした自分なりの入れ物を考える。 ○材料や用具の使い方を工夫してつくる。 ○実際に使うなどしてよさを味わう。	教師・児童：段ボール箱，包装紙，折り紙・色紙，身辺材，セロハンテープ，定規 など 教師：色画用紙，粘着テープ，木工用接着剤，段ボールカッター，カッターナイフ，カッターマット，きり など 児童：水彩用具一式，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
段ボール箱の形を基に，生活を楽しくする入れ物をつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボール箱を適切に扱うとともに，カッターナイフ，段ボールカッター，水彩絵の具，接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，段ボール箱の形から感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，用途などを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで段ボール箱の形を基に，生活を楽しくする入れ物をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　算数：B（2）「立方体，直方体などの立体図形」との関連が深い。体験的に特徴を知ることにつながる。

p.30-31　元気のおまもり　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／粘土で　4～6

目標　自分やみんなの元気が出るような形や色の感じを考え，材料や用具の使い方を工夫して立体に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分や多くの人のことや気持ちを考えながら，よりよいものをつくりだそうとする子ども。	○元気なときや，元気がないときについて話し合う。 ○話し合ったことから，自分やみんなの元気が出るような形や色を考える。 ○紙粘土でつくった形や色を組み合わせながら，「元気のおまもり」を立体に表す。 ○作品を見せ合いながら，考えたことやこだわりを伝え合う。	教師：紙粘土，粘土板 など 児童：水彩用具一式，粘土べら など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
自分やみんなの元気が出るような形を紙粘土で表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	紙粘土や水彩絵の具を適切に扱うとともに，粘土べらなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，元気だと感じたことや元気が出る様子を想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで自分やみんなの元気が出るような形を紙粘土で表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：A「個性の伸長」との関連が深い。自分がどういうときに元気が出るのか，といったことを見つめながら表現したことを，道徳の学習につなげたい。

p.32-33　光のさしこむ絵　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　3～4

目標　光を通す材料や，並べたり重ねたりする行為の中から，自分の表したいことを見付け，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
いろいろな材料への働きかけを工夫し，光によって変わる見え方や感じ方に気付きながら自分の世界をつくりだそうとする子ども。	○いろいろな材料に光を通し，光を通すことで見える形や色の面白さに気付く。 ○材料を光に通した面白さを試しながら，表したいことを見付ける。 ○表したいことに合わせて材料を組み合わせながら表現を深める。 ○友人とお互いの作品を光を通して見合いながら，よさや面白さを味わう。	教師・児童：光を通す材料（色セロハン・透明な空き容器・卵パック・養生シート・プラスチック段ボールなど），ペン，セロハンテープ など 教師：お花紙（薄紙），刷毛，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：水彩用具一式，はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
光を通す材料を組み合わせながら表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。	養生シートやプラスチック段ボールなどを適切に扱うとともに，色セロハン，お花紙などの材料，木工用接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，光を通す材料を組み合わせて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，光を通す材料や自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで光を通す材料を組み合わせて思い付いたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：p.38-39「光とかげから生まれる形」やp.46-47「まどをのぞいて」等との関連が深い。ともに本題材での材料経験などを生かすことができる。

p.36-37　ひみつのすみか　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で　4～6

目標　木の材料を組み合わせながら，ひみつのすみかの様子を考え，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して立体に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
木の材料に触れてそのよさやぬくもりなどを感じ取りながら表現を深めていく子ども。	○木の材料に触れながら，感触やにおいを感じる。 ○材料を組み合わせたり，切ったりつないだりしながら，表したい「すみか」を考える。 ○いろいろな材料を組み合わせるなどして，表現を深める。 ○友人とお互いの作品を見合いながら，よさや面白さを感じ取る。	教師・児童：木切れ，小枝・木の実などの自然材，ひも類，身辺材 など 教師：角材，板材，丸材，のこぎり，金づち，釘，釘抜き・ペンチ，木工用接着剤，クランプ・万力 など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
木の材料を組み合わせて，ひみつのすみかを表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	のこぎり，金づち，釘，木の材料を適切に扱うとともに，木工用接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，木の材料に触れて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，木の材料や自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで木の材料を組み合わせて，ひみつのすみかを表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：D「自然愛護」との関連が深い。自然材の手触りやにおいなども含めた全身の感覚を通して感じたことを，道徳の学習につなげたい。

p.38-39　光とかげから生まれる形　材料や場所を基にして活動する／材料を基にして

～暗い場所で～　2～6

目標　いろいろな材料を組み合わせてできる影の形を試しながら，造形的な活動を思い付き，形や色などの感じを捉えながら，面白い影の形をつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
いつもと違う見方をすることで，新しい見え方を見付け，よりよい見え方をつくりだそうとする子ども。	○影を投影すると面白いと思う材料を持ち寄り，影をつくりながらどのようなことができそうか考える。 ○友人と協力して，できる影の形を確かめながら，材料を組み合わせて活動を工夫する。 ○自分たちのつくった影を発表し合い，お互いの表現のよさや面白さを味わう。	教師・児童：投影してみたい材料（空き容器・厚紙・色セロハンなど），セロハンテープ など 教師：プロジェクタなどの光源，ロール紙・白布などスクリーンになるもの，ひも，ビニルテープ，デジタルカメラ など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
材料を組み合わせたり，光の当て方を試したりしながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	光源となるライトや身近な材料を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせるなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な材料や影の形や色などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な材料を組み合わせて光を当ててできた影の造形的なよさや面白さ，つくりたいこと，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで材料の組合せ方や光の当て方を試しながら，面白い影の形をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：D「感動，畏怖の念」との関連が深い。光と影がつくりだす形や色などの美しさを感じ取ったことから道徳の学習につなげたい。

～明るい場所で～　1～2

目標　いろいろな材料を組み合わせてできる影の形を試しながら，造形的な活動を思い付き，形や色などの感じを捉えながら，組み合わせるなど活動を工夫してつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
いつもと違う見方をすることで，新しい見え方を見付け，よりよい見え方をつくりだそうとする子ども。	○いろいろなものの影を確かめながら，どのようなことができそうか考える。 ○友人と協力して，できる影の形を確かめながら，材料を組み合わせたり体を使ったりして活動を工夫する。 ○デジタルカメラで撮影するなどして，自分たちのつくった影を発表し合い，お互いの表現のよさや面白さを味わう。	教師・児童：影の形が面白いと思う材料 など 教師：体育用具などの用具，デジタルカメラ など 児童：帽子 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
材料や体の組合せ方を試しながら影の形をつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	身近な材料を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせるなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な材料や影の形などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形を思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な材料や体を組み合わせてできた影の造形的なよさや面白さ，つくりたいこと，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで材料や体の組合せ方を試しながら，面白い影の形をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　理科：理科の太陽の動きにおける「影」との関連が深い。光と影との関係を学んだ上で活動することでより発想が広がる。
道徳：D「感動，畏怖の念」との関連が深い。光と影がつくりだす形や色などの美しさを感じ取ったことから道徳の学習につなげたい。

p.40-41　これでえがくと　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　2～6

目標　材料の形や色の感じを生かしながら，組合せを考え思い付いたことを工夫して絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
様々な材料の形や色の感じだけでなく，手触りやにおいなど自分の感覚を働かせながら自分だけのイメージを大切にし，夢中になって表す子ども。	○いろいろな材料に触れて，形や色，感触やにおいなどを感じ取る。 ○触れた材料から表したいことを考える。 ○材料を組み合わせたり，用具の使い方を工夫したりしながら，表現を深める。 ○表したものを見て題名を考える。 ○友人とお互いの作品を紹介し合いながら，材料の使い方や面白さを伝え合う。	教師：基底材（板・段ボール・黄ボール紙・画用紙など），液体粘土，布，麻布，片面波段ボール，わら，麻ひも，歯ブラシ，フォーク，カッターナイフ，カッターマット，段ボールカッター，木工用接着剤 など 児童：ペン，はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
材料の形や色の感じを生かしながら表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。	布などのえがく材料，水彩絵の具を適切に扱うとともに，接着剤，はさみなどの切る用具などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料に触れて感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，いろいろな材料や自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで材料の形や色の感じを生かしながら，組み合わせて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：5・6下p.30-31「感じて 考えて」との関連が深い。材料に触れながら，構成を考える活動は中学校美術へもつながっていく。

p.42-43　カードで伝える気持ち　伝え合うものをつくる　4～6

目標　飛び出す仕組みを基に，伝えたいことが楽しく伝わるカードを考え，形や色などの感じを捉えながら，表し方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
相手の気持ちを考えながら，より喜んでもらえるものをつくろうと工夫して表し，自分の気持ちを伝えようとする子ども。	○教科書などを見て飛び出す仕組みを知り，つくる。 ○仕組みを動かしたり，伝えたい相手や伝えたいことを考えながら表したいことを考える。 ○気持ちが伝わるように材料や用具の使い方を工夫する。 ○できたカードを友人と見合ったり，相手に渡したりしてよさや工夫を感じ取る。	教師・児童：身辺材，折り紙・色紙 など 教師：画用紙・色画用紙，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤 など 児童：クレヨン・パス，ペン，色鉛筆，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
気持ちを伝えるカードを，飛び出す仕組みを使ってつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	カッターナイフ，色画用紙などを適切に扱うとともに，はさみ，接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，仕組みを動かして感じたことや，伝えたいことから，表したいことを見付け，用途を考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで気持ちを伝えるカードを，飛び出す仕組みを使ってつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　算数：B「図形」の並行や垂直，立体の見取り図などの学習との関連が考えられる。
道徳：B「感謝」との関連が深い。道徳の学習の後に，本題材に取り組むことも考えられる。

p.44-45　言葉から形・色

感じたこと，想像したこと，見たことから表す／物語などから感じたこと，想像したことから表す　　4～8

目標　詩や物語から想像を広げ，思い浮かべた様子や感じに合う形や色を見付け，どのように表すか考え，工夫して楽しく絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
詩や物語などから，いろいろな様子や雰囲気を思い浮かべながら絵に表すことで，さらに想像を広げることを楽しむ子ども。	○詩や物語から思い浮かべた様子や感じた雰囲気を話し合う。 ○詩や物語から想像した様子や感じた雰囲気に合う表し方を考え，絵に表す。 ○お互いの表し方の特徴を見付け，ヒントにしながら自分なりに工夫して表す。 ○表した様子や表し方の工夫を味わいながら，友人とお互いの作品を鑑賞する。	教師・児童：詩や物語 教師：画用紙・色画用紙，コンテ・パステル，他の題材での紙の端材 など 児童：水彩用具一式，ペン，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
詩や物語から想像を広げて表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに，クレヨン・パス，ペンなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，詩や物語に触れて感じたこと，想像したことから表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　国語：国語で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり，思いを広げることは国語の「〔思考力，判断力，表現力等〕C 読むこと」にもつながる。

p.46-47　まどをのぞいて　　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして　　2～3

目標　窓の向こうの景色を見て，形や色などの感じを捉えながら，材料と景色を組み合わせるなどして活動を工夫し，窓から見える景色の様子を変える。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
見慣れたいつもの景色にある形や色を生かしながらつくりかえることで，新しい価値をつくりだす喜びを感じる子ども。	○窓から景色を見ながら，つくりかえたいところを探す。 ○窓から見える景色を生かして，窓に材料を貼りながら様子を変える。 ○確かめながらつくりかえる。 ○つくりかえた様子を友人と紹介し合い，お互いの表現のよさや面白さを味わう。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：お花紙，色セロハン，メンディングテープ など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
窓の向こうの景色に形や色を重ねるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じや，面と面の重なりによる前後の感じなどが分かっている。	色セロハンやお花紙などを適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせたり，切ってつないだり，形を変えたりするなどして，手や体全体を十分に働かせ，活動を工夫してつくっている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じや，面と面の重なりによる前後の感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，窓の向こうの景色や材料などを基に造形的な活動を思い付き，新しい形や色などを思い付きながら，どのように活動するかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じや，面と面の重なりによる前後の感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料を組み合わせて様子を変えた窓の向こうの景色の造形的なよさや面白さ，つくりたいこと，いろいろなつくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで窓の向こうの景色に形や色を重ねて，楽しい様子をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：5・6下p.12-13「ここから見ると」との関連が深い。視点による見え方の違いなどは，絵に表す活動などにも生きてくる。

p.48-49　ようこそ！ ゆめのまちへ　　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／様々な材料で　　2～5

目標　大きく楽しい夢の街を考えるとともに，形や色などの感じを捉えながら，段ボールを積んだり，組み合わせたりするなど表し方を工夫し，協力して立体に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
友人と協力して，大きな材料に働きかけ，思い付いたつくりたい形に向かって工夫しながら取り組む子ども。	○協力して大きな夢の街をつくることを知り，どのようなものがあったら楽しいか考える。 ○段ボールの組合せ方を工夫したり，形を変えたりしながらつくる。 ○思いに合わせて色を塗ったり，形を変えたりする。 ○建物を並べて街をつくり，みんなで見て回り，よさや面白さを味わう。	教師・児童：段ボール，新聞紙 など 教師：クラフト紙，水張りテープ・クラフトテープ，共用の絵の具，段ボールカッター，木工用接着剤，洗濯ばさみ など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
協力して，段ボールを使った大きな街をつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	段ボール，段ボールカッターなどを適切に扱うとともに，水彩絵の具，クラフトテープなどについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，みんなで過ごしたい街の様子を想像したことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで協力して，段ボールを使った大きな街をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　社会：4年生「自分たちの都道府県の地理的環境の特色」などで学んだことを生かし，街のいろいろなことを考え合わせて表現につなげることが考えられる。
道徳：B「友情，信頼」との関連が深い。本題材では，互いに協力することで達成できることがある。本題材での経験を道徳の学習につなげたい。

p.50-51　ゴー！ゴー！ドリームカー　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる

～ゴムの力で～　6～8

目標　ゴムの力で動く仕組みから表したい車を考え，形や色などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して，楽しく走る車をつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
生活や他教科での経験や学習を生かしながら，自分の思いをよりよく実現させていくことに喜びを感じる子ども。	○ゴムの力で動く車の仕組みを知り，つくる。 ○仕組みを動かしながら表したい車を考える。 ○確かめながら，材料や用具を工夫して，自分だけの車をつくる。 ○友人と一緒に車を走らせ，よさや面白さを感じ取る。	教師・児童：空き箱，ペットボトルキャップ など 教師：色画用紙・厚紙，片面波段ボール，段ボール，輪ゴム，ストロー，たこ糸，竹ひご，カッターナイフ，カッターマット，きり，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：ペン，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
ゴムの力を使って，走らせて楽しむ車をつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	カッターナイフ，接着剤などを適切に扱うとともに，はさみ，車に使う材料などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，車が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，車を走らせるなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んでゴムの力を使って，走らせて楽しむ車をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　理科：３学年Ａ（2）「風とゴムの力の働き」との関連が深い。学んだことを思い出すなどしながら，題材に取り組みたい。
プログラミング教育：ゴムや風ではなく，プログラムで動きを制御することも考えられる。その動きを基に表したいことを考えるようにすることが重要である。

～風の力で～　4～6

目標　風の力で動く仕組みから表したい車を考え，形や色などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して，楽しく走る車をつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
生活や他教科での経験や学習を生かしながら，自分の思いをよりよく実現させていくことに喜びを感じる子ども。	○風の力で動く車の仕組みを知り，つくる。 ○仕組みを動かしながら表したい車を考える。 ○確かめながら，材料や用具を工夫して，自分だけの車をつくる。 ○友人と一緒に車を走らせ，よさや面白さを感じ取る。	教師・児童：空き箱，ペットボトルキャップ など 教師：色画用紙・厚紙，片面波段ボール，ストロー，竹ひご，カッターナイフ，カッターマット，きり，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：ペン，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
風の力を使って，走らせて楽しむ車をつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどが分かっている。	カッターナイフ，接着剤などを適切に扱うとともに，はさみ，車に使う材料などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，車が走る様子を想像したことや仕組みを動かして感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料などを生かしながら，表したいことを考え，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，車を走らせるなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで風の力を使って，走らせて楽しむ車をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　理科：３学年Ａ（2）「風とゴムの力の働き」との関連が深い。学んだことを思い出すなどしながら，題材に取り組みたい。
プログラミング教育：ゴムや風ではなく，プログラムで動きを制御することも考えられる。その動きを基に表したいことを考えるようにすることが重要である。

p.52-53　ポーズのひみつ　自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る　1～2

目標　人物が描かれた美術作品をみんなで見て，真似たり話し合ったりし，形や色などの感じを捉えながら，その登場人物の気持ちを想像し，美術作品のよさや面白さを味わう。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
同じものを見ていても感じ方は多様であることに気付き，自分と違う感じ方や考え方も認めようとする子ども。	○人物が描かれた美術作品に出合う。 ○描かれている様子や形や色などの感じを基に話し合ったり，ポーズを真似たりしながら，登場人物が何をしているのか，どのような気持ちなのかを考える。 ○考えたことを発表し合い，見方や感じ方，考え方を広げる。	○教師：美術作品のポスター，付箋，ワークシート など ○児童：筆記用具 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
ポーズに注目して身近な美術作品を見るときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどが分かっている。			形の感じ，色の感じ，それらの組合せによる感じ，色の明るさなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な美術作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで美術作品を見て，ポーズに注目することでどのような場面かを考えながら，よさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：Ａ［個性の伸長］Ｂ「相互理解，寛容」との関連が深い。美術作品を見て感じたことや考えたことを話し合う中で，自分の感じ方の特徴や，友人との考え方の違いを知り，ともに大切にすることができるようになる。

p.54-55　ほってすって見つけて　版に表す　4～8

目標　版を生かして表したいことを考え，形などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して，版に表すことを楽しむ。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
新しい用具や表現方法に触れ，そのよさを味わいながら表現を広げていくことに喜びを感じる子ども。	○彫刻刀の安全な扱いについて知る。 ○板にいろいろな線や形を彫りながら，表したいことを考える。／表したいことを下絵にかき，版木に写して彫る。 ○彫った形を刷って，さらに彫り足すなどして表現を深める。 ○友人とお互いの作品を見合って，彫りの工夫や作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：新聞紙 など 教師：版木，版画用紙，版画用具一式，トレーシングペーパー など 児童：彫刻刀，ペン など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
彫刻刀を使って，彫り方を試したり，刷って確かめたりするときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	彫刻刀を適切に扱うとともに，版画の用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，彫刻刀で板を彫って感じたことや，生活の中で感じたことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで彫刻刀を使って，彫り方を試したり，刷って確かめたりしながら版に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：彫刻刀を初めて使用する題材であり，安全で適切な扱いを身に付けるようにすることは，次年度以降の版に表す題材のみならず５・６上p.48-49「わたしのいい形」などでの表現の広がりにもつながる。

～はん木を組み合わせて～　4～8

目標　版を生かして表したいことを考え，形などの感じを捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して，版に表すことを楽しむ。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
新しい用具や表現方法に触れ，そのよさを味わいながら表現を広げていくことに喜びを感じる子ども。	○選んだ板切れを用紙の上で組み合わせたり配置したりしながら，見立てる。 ○思い付いたものに合うように，彫刻刀で板を彫り，刷る。 ○さらに思い付いたらかき加えたり色を付けたりする。 ○友人とお互いの作品を見合って，彫りの工夫や作品のよさや面白さを伝え合う。	教師・児童：新聞紙 など 教師：板切れ，版画用紙，版画用具一式 など 児童：彫刻刀，ペン，クレヨン・パス，水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
彫刻刀を使って，彫り方を試したり，板を組み合わせたりした形を刷って表すときの感覚や行為を通して，形の感じ，形の組合せによる感じなどが分かっている。	彫刻刀を適切に扱うとともに，版画の用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，彫刻刀で板を彫ったり，板を組み合わせたりして感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，表したいことを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	形の感じ，形の組合せによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい，進んで彫刻刀を使って，彫り方を試したり，板を組み合わせたりした形を刷って版に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：彫刻刀を初めて使用する題材であり，安全で適切な扱いを身に付けるようにすることは，次年度以降の版に表す題材のみならず５・６上p.48-49「わたしのいい形」などでの表現の広がりにもつながる。

３・４年下　特設ページについて

ページタイトル	ページ	概　要
教科書美術館 ～しぜんの形～	p.2-4	「教科書美術館」は，身の回りの造形から美術作品まで幅広く鑑賞の対象を掲載したページである。 「しぜんの形」では，自然の中にあるものや自然を描いた美術作品を，形に基づいて見ることを促している。自分たちの身近にある自然の形の多様さや，多様な形を生かした美術作品を見ることで，形や形の組合せによる感じを捉えたり，形の面白さなどを感じ取ったりしたことを話し合うなどして，自分たちの表現に生かすことができるようにしたい。
図画工作をはじめよう ～ためしたよ 見つけたよ～	p.5-7	オリエンテーションのページである。 ここでは，図画工作の学習が３つの資質・能力を育てる時間であり，教科書はそのためのヒントであって，写真やキャプションなどを参考にしながら，主体的に試し工夫し，友人と関わるなどして表現や鑑賞の活動に取り組み，自分の資質・能力を育てていく，ということを伝えている。 実際の題材に取り組む前に本ページを活用しながら，児童とともに，図画工作の目標について話し合う時間などをもつようにしたい。
ひらめきポケット ～組み合わせる～	p.34-35	「ひらめきポケット」は，児童の発想を促すための行為とそれに関連する図版を掲載している。児童が表現に向かったり，いろいろな形や色などに気付いたりするためのページである。 「組み合わせる」では，この時期の児童の実態に合わせて，いろいろな組合せ方や，組み合わせてできた形や色などを紹介し，児童の発想を広げることができるようにしている。
図画工作のつながり ひろがり ～ざいりょうを見つけよう～	p.56-57	「図画工作のつながり ひろがり」は，図画工作で学んだことを生活や社会に生かすことを提案する，「開かれた教育課程」を目指すためのページである。 「ざいりょうを見つけよう」では，様々な地域ならではの材料やそれを生かした工芸品などを紹介している。本ページを通して，児童が自分たちの地域の特長を，材料といった点からも見直すことができるようにし，地域への思いを深めることができるようにしたい。
使ってみよう材料と用具	p.58-65	教科書で取り扱う様々な材料や用具について，安全で適切な取扱いができるように示しているページである。 単に技能の習得として活用するだけでなく，いろいろな材料や用具自体も一つの鑑賞の対象として見ていくことができるような図版も掲載している。 また簡単な問いかけなどを設定するなど，材料や用具を使って表現することへの意欲を高めるコーナーも設定してある。活用にあたっては，特に安全に配慮する必要があるような用具については一斉指導をする，そうでないものについては適宜参照するなど，実態に応じて使い分けるようにしたい。